

さっほろあさひがおか

北海道・市立 札幌旭丘高校

自主性を重んじ、興味関心を探りながら、「実力」と「大学生の資質」を身につける

取材・文／永井ミカ



≫実践ノウハウ

- 科目選択やゼミ選択など、選択させることで興味関心を探る
- 生徒の自主性を重んじ、生活や行動を管理しすぎない
- 複数担任制で生徒の進路実現を手厚くサポート

北海道札幌市の中心部を一望する雄大な口ケーションに立つ札幌旭丘高校は、1958年、市民による開設運動によって誕生した学校。8校ある札幌市立高校の中では最も歴史が古く、常に高い進学実績を挙げていることもあり、地元からの信頼も厚い。

2001年、オープン型大職員室やラウンジの生徒用ロッカーなど多くの新しいコンセプトを取り入れた新校舎が完成。04年には、「札幌市立高等学校改革推進計画」の二環として単位制への移行を果たした。学年区分を外し科目選択の自由度を広げながらも進学を重視し、「合格できる確かな実力」と「大学生に求められる資質」を身につける教育を目標としている。併せて、「自主自立」の精神を育てることに重点を置いており、科目選択をはじめ様々な場面で、生徒自身が自分の興味関心を探り責任をもって選択できる機会を与えている。

生徒の力を引き出す「単位制」と「進路探究学習」

単位制を取り入れている旭丘高校では、かなり自由度の高い科目選択ができる(図1)。1年次はほとんど必修科目だが、2年次、3年次と上がるにつれ選択できる科目が増えるので、生徒は1年次のうちから自分の興味関心をじっくり探りながら履修する科目を決めていく。大学の

ように決まった時間割の中から選択していくのではなく、まず生徒が履修科目を決め、それを踏まえて学校が空き時間がないように時間割を作成するという複雑かつ全国でも珍しいシステム。例えば、3年次生320人に対し時間割は290通りを超えており、2・3年次生が同じ授業を受けることはもちろん、生徒が1人だけという授業もあり得るのだ。

一方、同校では進路探究のことを「進路探究学習」と呼んでおり、主に総合的な学習の時間「Sunrise Time」(図2)の中で取り組んでいる。そして、進路探究学習の中でも核となるのがゼミ活動。生徒は1年次の後期に個人課題研究のテーマを決め、2年次からはテーマ別のゼミに所属して研究に取り組む。そのほか「Sunrise Time」には、読書活動や学問研究会、高大連携プランなどがあり、生徒たちはこれらの活動を通して、社会課題・学問研究に対する興味関心を育み、幅広い教養を身につけながら、大学生となる準備をしていくのである。

なお、通常の学校でのホームルームクラスが旭丘高校ではゼミとなり、興味関心や進路志望が近い生徒が集まることになる。ゼミには運営指導に当たる「ゼミ担任」がつく。また、ゼミ活動のない1年次は、40人のクラスに2人ずつの「ガイダンス担任」がクラスを受け持つ。いずれにしても教員1人に対し生徒は原則20名で、進路相談などにも手厚く対応できる体制となっている。

>> School Data

普通科単位制 / 1958年創立
 生徒数 / 生徒数964人(男子354人・女子610人)
 進路状況(2009年度実績) / 大学 54.7%・短大 0.2%・
 専門学校等 2.5%・就職 0%・その他(浪人)42.6%
 北海道札幌市中央区旭ヶ丘6-5-18
 TEL 011-561-1221
 URL http://www.asahigaoka-h.sapporo-c.ed.jp/

Process
 立ち上げのプロセス

準備委員会を2チームに分けて
 大規模な学校改革を推進

現在の校長である宮浦俊明先生が、教頭として同校に赴任したのが02年。札幌市立高校がそれぞれの学校改革に向けて大きく動き出したころで、旭丘高校も例外ではなかった。

大学入試の多様化や「生きる力」を育てる教育の必要性などを考えて、教員たちの中から「単位制」という提案がなされたのは自然な流れだった。01年に完成していた新校舎は単位制にふさわしい造りだったし、単位制なら教員の加配もある。何より生徒のためになるシステムだろうと、多くの教員が感じた。とはいえ、現実問題として考えていくとクリアすべき問題は山積み。クラスがなくてどうやって集団の中で育てていくべき力を身につければよいのか？ 担任は？ 行事は？ 入学したての1年次生にどのようにして科目選択をさせればよいのか？ そして何より、魅力ある科目とは何か？ 旭丘らしさとは何か？ 話し合いは尽きなかった。

議論のまとめ役をしていた宮浦先生が振り返る。「当時の旭丘には、進学実績の伸び悩みに加え、遅刻が多い、服装が乱れているなどの問題点もありました。それらを改善し、人間性や社会性、市民としての自覚をきちんと育てたい。自主

自立の精神に富み、興味関心を追求できる、大学に行っても立派に通用するような生徒を育てたい。そのためには学校目標から見直していかなければなりませんでした。」

まさに生まれ変わる気持ちで大規模な学校改革を進める必要がある。そこで、準備委員会は2つのチームに分かれた。生徒たちの自主性を促すような取り組み、それもすぐに行動に移せるような具体案を考えるプロジェクトA部会、高校生活の3年間を見通しつつ、学校全体の目標等を策定していくB部会。議論が堂々巡りにならないよう毎週の会議の記録を必ずとり、決して後退せず前へ前へと進んだ。

「複数担任制の案が承認され、ゼミ学習を中心に進路探究学習を進めるという発想が出てきたとき、この改革はうまくいくという確信が持てました」と宮浦先生はいう。03年に、総合的な学習の時間の進路探究学習やゼミ学習等を取り取りして実施。この頃には全教員が覚悟を決め、学校を挙げてそれぞれの仕事に取り組みもうという機運が高まってきた。そして、04年に単位制1期生が入学し、新しい学校がスタートした。

いざ実行してみると、校長をはじめ教員全員で行うはずだった論文指導、ゼミごとに行き先を決める修学旅行など、予定通りにいかなかったこともあった。けれども、大きな方針は変えないまま7年がたち、予想以上に生徒は単位制というシステムを使いこなす自主性を育んでいった。最初は教員も力が入りすぎていたところがある。しか

図2 総合的な学習の時間「Sunrise Time」

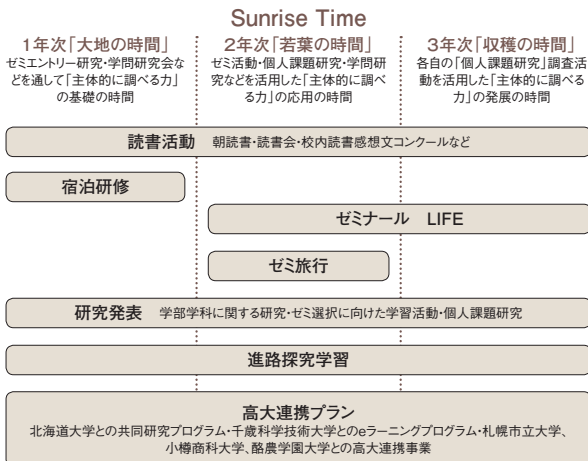
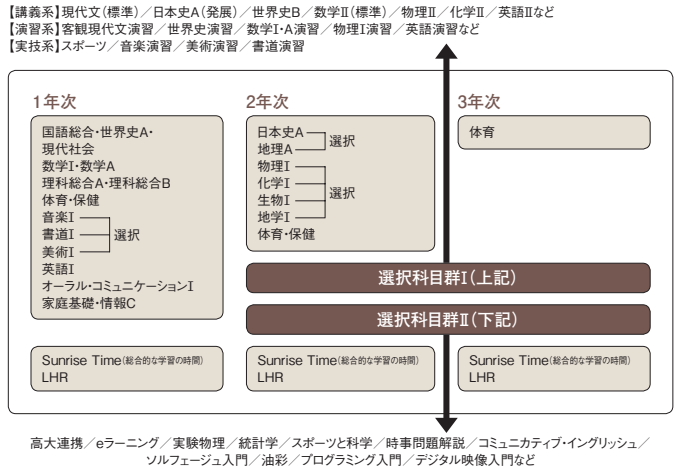
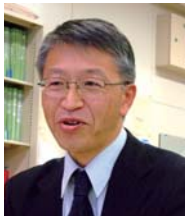


図1 単位制カリキュラムの概要





教諭
成田英行先生



教務主任
中村文則先生



進路部長
佐藤直人先生



校長
宮浦俊明先生

し、生徒を信頼し自主性に任せる部分を増やし、生徒はそれに応えた。

04年度が終り、宮浦先生は転任。08年に今度は校長として旭丘に戻って来た。「完成まで10年かかるだろうと思っ取り組んだ改革なので、やはりまだ課題はあります。けれども、予想以上に先生と生徒のコミュニケーションがうまくいき、学校の雰囲気がよくなりました。先生が生徒をよく理解しており、そこから生まれる安心感によつて生徒は実力を出せていると思います」。4年ぶりの旭丘は、服装の乱れや遅刻がほとんどない学校になっていったという。

Close up ① 自主自立

シラバスを熟読し

自分で選択科目を決める

旭丘高校が目標として掲げている「自主自立」。高校生の目標としては当たり前すぎるといわれることもあるのだが、同校では、教育活動の中で常に自主自立を意識し、ハード、ソフトの両面で工夫を重ねている。

まず、同校には生徒手帳がない。代わりに学校の概要や教育目標から科目選択や学校生活の細かなことまで網羅した「ガイダンスブック」を配布。生徒はこれをガイドにして自己判断で行動する。また、1年次ははじめの宿泊研修では起床時間等は細かく決めず、生徒の自主性に任せてい

る。研修中、生徒は様々なガイダンスを受けて学校生活について知り、クラス対抗校歌コンクールなどで仲間との絆作りをする。

生徒自身が選択する場面もいろいろと用意されており、なかでもメインとなるのが科目選択だ。1年次はほとんどが必修科目だが、2年次からは選択科目群Ⅰ、Ⅱの中からも選択する。2年次の科目を選び始めるのは1年次の6月。そのために用意されたシラバス(図3)には全科目の内容が細かく書かれていて、生徒はこれを熟読しながら科目選択をしていく。「モデル案の提示は一切しません」というのは、教務主任の中村文則先生。「シラバスを読みながら、3年間のカリキュラムや受験科目などをふまえて科目を選択するこ

とが、自分の進路や興味関心を突き詰めて考えることにつながります。迷ったら担任が何度でも相談に乗りますが、こちらが提供できるのはあくまでもアドバイス。この経験は必ず生徒のためになると思います」。1年次の6月とは早すぎる気もするが、突きつければ、生徒たちは大学まで自分で調べ、進路意識を育みながら何とか選んでいくそう。

興味対象を「学問」として捉え 進路選択や進路実現につなげる

そのほか、大学から講師を招いての学問研究会も自分で将来を考えるいい機会だ。講座は24コ

図3 シラバスの一例

科目名	講座名	履修区分	期別	単位数	開講年次
政治・経済	政治・経済(通年)	選択科目群Ⅰ	通年	2	2・3
授業形態		履修条件			
講義+課題学習		なし			
【科目の概要】					
「政治・経済」は中学校社会科「公民」の内容を基礎として、さらに広い視野にたつて、現代における政治、経済、国際関係などについて系統的に理解することを目的とする。					
・科目の分野は、					
(1) 現代の政治					
① 民主政治の					
② 日本の政治					
(2) 現代の経済					
① 経済社会の					
② 現代社会の					
③ 現代日本の					
【学習目標と評価】					
観点	評価				
関心					
態度					
思考	・政治は				
判断	は				
表現	は				
知識	は				
理解	は				
【使用教材】					
1. 教科書：政治・経済					
2. 副教材：政治・経済					
【備考】					
政治・経済					

科目名	講座名	履修区分	期別	単位数	開講年次
実験物理	実験物理(後期)	選択科目群Ⅱ	後期	1	2・3
授業形態		履修条件			
実験		なし			
【科目の概要】					
どんなに複雑そうに見える自然現象でも、注意深く観察しその構造に隠れる基本的な仕組みを見つけてみると、それらは狭いつかの基本法則から説明することができます。また一見不思議そうに見える現象でも物理の法則をもとにじっくりと考えると、その理を解き明かすことができることがあります。物理とはそのような法則を見出し、いろいろな自然現象をいくつかのより少ない基本的な原理から出発して論理的に説明する科学です。					
「物理実験」では①いくつかのグループに分かれて物理の実験テーマを設定する。②より効果的な方法で実験する。③実験データを分析・考察する。④研究レポートを作成する。⑤実験結果の発表をする。を通して、身の回りのさまざまな自然現象を考察・説明することができるようにします。テーマは物理学の範囲であれば何でも構いません。研究テーマの設定を急いで授業の中でも相談に応じます。					
【学習目標と評価の方法】					
観点	評価	規	準	評	価
関心	実験への取り組み態度で評価する。				
態度	・自ら実験テーマを設定し準備する。				・実験計画書
態度	・より良い結果を出せるように実験を計画する。				・安全に対する配慮
思考	・安全で効果的に実験を行う。				・実験レポート
判断	実験レポートをもとに評価する。				・実験結果発表等
表現	・実験の方法は適切な。				
表現	・実験の手順を正しく表現しているか。				
表現	・その結果を正しく読み、正確に表現しているか。				
知識	・実験の目的にあった正しい結果を導き出しているか。				
理解	・適切な考察しているか。				
理解	・実験結果を分かりやすく発表しているか。				
【使用教材】					
1. 教科書：未定					
2. 副教材：未定					
3. その他：未定					
【備考】					
物理Ⅰを修得し、物理Ⅱが履修されていることが望ましい。					
(物理Ⅰを修得していない場合は自分で学習する必要があります。)					

必須、選択の全科目について各1ページずつ詳細に説明したシラバスブック(全249ページ)を配布。生徒はこれを読み込んで時間割を作っていく。



個人課題研究を終えると、ゼミ内で全員がパワーポイントを使って発表し評価し合う。優れた論文は全体の発表会へ。

■ 図4 ゼミ課題研究エントリーシート

※欄は記入しないこと。

※1	※2	※3								
<p>ゼミ課題研究エントリーシート</p> <p>出席番号 _____ 氏名 _____</p> <p>ゼミ課題研究テーマ <u>日本人の食生活</u></p> <p>テーマを構成するメインキーワード</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">キーワード</th> <th>意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>孤食・個食・偏食</td> <td>家族が揃って食事せず、各自ばらばらな時間に食へること。また、食物の好き嫌いのあること。</td> </tr> <tr> <td>食育</td> <td>健全な食生活に必要な知識や判断力を習得し、それを実現することを旨とするための取組。</td> </tr> <tr> <td>食料自給率</td> <td>その国の食料消費がどの程度自国の生産でまかなわれているかの値。</td> </tr> </tbody> </table> <p>テーマ設定の理由</p> <p>私は毎日忙しくしている食事に興味を持っています。また、あまりには決まっていなくても、将来的に食生活が健康になるようにも考えています。また、日本の食生活は、毎日の健康や生活にどのように関係しているかなども考えながら取り組んでいます。現代の日本人の食生活は、孤食などさまざまな問題が挙げられているが、その実態はどうか、食料自給率の低い日本の食生活は、このままでも大丈夫なのか、食について知りたいと思ふことがたくさんあります。</p> <p>研究計画（おおまかな章立て、研究方法（例：実験）など）</p> <p>孤食や偏食、若い女性に多い「現食癖」、おじいさん世代に多い「昔ながらの食生活」など、さまざまな問題が指摘されています。それらの問題は、一体どういったものなのか、またそれらは、健康や体にどのように影響するのかを研究していきたいです。このような問題が増えたのは、戦後日本が急激に豊かになったことと関係があると思われ、健康や体への影響は、栄養の観点からより関係は、いろいろあると思います。そのようなことを含めてこれからインターネット、図書館、新聞、また自分でできる範囲での実験を利用して調べていきたいです。</p> <p>「LIFE」との関係性 <u>現代の日本の食生活の理解を深め、自分の食生活をしっかりと見直し、「生きる力」を身に付ける。</u></p>			キーワード	意味	孤食・個食・偏食	家族が揃って食事せず、各自ばらばらな時間に食へること。また、食物の好き嫌いのあること。	食育	健全な食生活に必要な知識や判断力を習得し、それを実現することを旨とするための取組。	食料自給率	その国の食料消費がどの程度自国の生産でまかなわれているかの値。
キーワード	意味									
孤食・個食・偏食	家族が揃って食事せず、各自ばらばらな時間に食へること。また、食物の好き嫌いのあること。									
食育	健全な食生活に必要な知識や判断力を習得し、それを実現することを旨とするための取組。									
食料自給率	その国の食料消費がどの程度自国の生産でまかなわれているかの値。									

マあり、選べるのは1人2コマ。これを1年次と2年次の2回行う。自分がどの学問に興味があるかをじっくり考え選ぶことが、進路選択にもつながっていく。

そして2年次から所属するゼミの選択が、科目選択に続く大きな選択だ。同校では2年次になるとゼミがクラスの代わりのような存在になるため、1年次の後期に生徒自身が研究したいテーマを決め、その設定理由や研究計画をゼミ課題研究エントリーシート（図4）に書く。出そろったテーマを、コミュニティや人権、経済などあらかじめ8つのテーマに分かれたゼミに振り分け、それぞれが所属するゼミが決まる（図5）。また、研究

テーマ設定は、身の周りの世界を「学問」という視点でとらえ直す発想を鍛えることにつながり、同校の目指す「大学生としての資質」を身につける大きな機会となる。

校内には自立心や探究心を高めるための工夫が多い（図6）。そもそも、同校の単位制は、生徒にも教員にもホームベースの教室はなく、授業によつて個々が教室を移動するシステム。校内のインフォメーションボードを常にチェックしながら行動を自己管理する必要がある、他人に頼って授業を受けることもままならない。つまり、生徒の自立の上に成り立つシステムなのである。

「久しぶりに担任を持って、生徒の自主的、積

■ 図5 ゼミ一覧と研究テーマ例

<p>■ コミュニティ・ゼミ（地域・社会を考える）</p> <p>○ 研究テーマ 「第3セクター-鉄道の研究」 「子育て支援と子供」 「独居老人～地域福祉活動」など</p>	<p>■ 人権ゼミ（人権と福祉を考える）</p> <p>○ 研究テーマ 「児童虐待について」 「少年法の現状と課題」など</p>	<p>■ 経済ゼミ（経済・産業・先端技術を考える）</p> <p>○ 研究テーマ 「ナノテクノロジーの今後の課題」 「北海道経済」 「国際金融市場」など</p>
<p>■ メディカル・ゼミ（医療と保健衛生を考える）</p> <p>○ 研究テーマ 「心の病・新薬開発・がん治療について」 「医療界における倫理観の過去と現状」など</p>	<p>■ いのちゼミ（生と死を考える）</p> <p>○ 研究テーマ 「生と死について-「代理出産」と「癌」」 「よりよく生きるために」など</p>	
<p>■ 環境ゼミ（環境と地球を考える）</p> <p>○ 研究テーマ 「水環境と及ぼす影響」 「地球温暖化」 「燃料電池車」など</p>	<p>■ フードゼミ（食と栄養を考える）</p> <p>○ 研究テーマ 「スポーツ栄養学」 「サプリメント」 「ファーストフード」など</p>	<p>■ 平和ゼミ（戦争と平和を考える）</p> <p>○ 研究テーマ 「イラク戦争を探る」 「国際連合が果たす役割」など</p>

極的な姿勢に驚きました」というのは、7年前から改革に力を注いできた成田英行先生。「行事で係やスケジュールを決めるのも生徒たちに任せておけば大丈夫です。中学生に向けた学校紹介を卒業生に依頼したところ、「旭丘は中学校より5倍大変で、10倍やりがいがある学校」との言葉。生徒の成長を感じました」。出る杭が打たれない。そんな雰囲気旭丘にはあるのだという。



新書は進路相談室にそろえている。ゼミ関連の推薦図書やタイムリーな話題の図書がそろつ。



職員室での生徒の個人面談の様子。保護者の個人面談も同じ場所で行う。



提出物などの連絡を行う掲示板(インフォメーションボード)を校内の要所要所に配置



校内のあちこちにラウンジがあり、その日の新聞がテーブルの上に置いてある。

図6 自主自立を促し探究心を高めるためのハード面の工夫

- 生徒手帳はなく、入学時に学校生活のあらゆることを記したガイダンスブックを配布。生徒はすべてこれに基づいて自主的に行動する。
- 進路相談室に多数の新書をそろえる。読書タイム、ゼミ学習、小論文対策など、あらゆる場面で活用する。
- 共用スペース各所にその日の新聞を置き、いつでも手にとって読めるようにしている。
- 女子のスラックスなど自由度の高い制服でコーディネートを工夫できる。生徒からの要望により、新たに女子のネクタイも導入。
- 生徒への連絡事項は掲示板(インフォメーションボード)で行う。職員室からパソコンでメッセージを更新できる。
- 教室には私物を置かず、持ち物はラウンジの個人ロッカーで管理するシステム。
- 職員室の中を廊下が通るレイアウトとなっている。個人面談、保護者面談もここで実施する。

Close up ②

進路支援

生徒の自主性を尊重し 進路実現をサポートする

同校では様々な進路支援を行っており、見聞を広げるため外部との連携も積極的だ。高大連携推進事業では、北海道大学などの授業を選択科目群Ⅱの講座として設置。大学生に混ざり学問研究の最先端に触れることができる。またユニークな試みとしては、毎年5月、8つの市立高校

の1年生全員が参加する進路セミナーがある。識者の講演のあと、各学校の代表者たちが将来の夢を語りパネルディスカッションを行う。「生徒の反応がとて面白い行事のひとつ。高校受験のために勉強ばかりしてきた1年次生も、同じ年齢の仲間が、すでにこんなに将来のことを考えていると大いに刺激を受けるようです」と進路部長の佐藤直人先生はいう。

また複数担任制も進路支援に大いに役立っている。1年次では40人の学級に2人の担任が付く、2・3年次では多少の差は生じるが定員20人のゼミひとつに1人の担任が付く。つまり、3年間を通して20人の生徒を1人の教員がサポートするため、進路相談なども手厚くなるのだ。オープン型の職員室は生徒の通り道にもなっている設計で、先生と生徒の距離は非常に近く、相談や面談はひっきりなし。教員は自分の教室を持たないため、保護者や生徒との個別の面談も職員室で行う。

なお、職員室にいる時間が長くなるため、教員同士の情報交換も活発になるという効果もある。同校では、改革当初から、すべての教員が中学生や保護者向けに旭丘の特徴を説明できることを目指してきた。以前はそのための研修が多かったが、現在は減っている。教員も自主自立の精神で理解していくことを求められるのだ。

こうした環境のなか、先生と生徒の関係は良好だ。以前は生活指導を厳しくしすぎて生徒が反発することもあったが、「自主自立」の目標を

再度見直し、もっと生徒に任せる方向にシフトチェンジした。そこからお互いの信頼関係が築けてきたのだという。「国立大に多く入れればいいというのではなく、生徒が本当に行きたいところへ行けることが大切」(成田先生)というスタンスで、教員は生徒を信頼し、様々な選択を応援している。

早くから進路意識を育て興味関心に沿った「学問」を発見させる。そして学校生活のなかの様々な仕掛けによって自立心を促す。こういった取り組みがうまく機能している旭丘高校の、これからの課題はそれらをより深めていくこと。「ゼミでは個人研究のみならずグループ研究なども行い、もっと年次を超えた交流が広がれば」と宮浦校長。また、佐藤先生も「せっかく自主自立の精神が育っているのだから、家庭学習などにももっと積極的に取り組んでもらいたい」と今後の抱負を語る。

一方で、難しい問題も起きている。科目選択の自由度では全国の単位制高校の中でもトップレベルの同校だが、大学の受験科目増加や新学習指導要領の影響で、カリキュラムに余裕がなくなり選択の幅が狭まってくるおそれがあるのだ。もちろん、それがゼミをはじめとする総合的な学習の時間にも影響を与える可能性も否定できない。

自他ともに認める旭丘らしさを失わず教育環境の変化に対応するにはどうすればよいか。改革はまだ続きそうである。